

令和4年度第7回治験審査専門部会

【会議の記録の概要】

開催日時	2022年11月30日 17時00分～17時40分
開催場所	外来西棟2階実習室
出席委員	辻本 広紀、足立 健、佐藤 貴浩、竹内 大、津田 均、吉野 相英、河邊 和広、大塚 正征、小杉 隆祥、熊井 邦善、平 尚美
欠席委員	石塚 俊晶
議題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p>【審議事項】</p> <p>議題1. MSD株式会社の依頼によるBRCA 変異陰性の進行上皮性卵巣癌の未治療患者を対象としたペムプロリズマブ及び化学療法併用投与後に維持療法としてペムプロリズマブ及びオラパリブ併用投与又はペムプロリズマブ単独投与の第Ⅲ相試験（整理番号：2022-2） 治験薬概要書別冊の改訂に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認</p> <p>議題2. シミック株式会社の依頼による卵巣癌患者を対象としたRucaparib (CO-338) とニボルマブ (BMS-936558) の併用第3相試験（整理番号：2022-4） 治験実施計画書の明確化レターに伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認</p> <p>議題3. MSD株式会社の依頼による進行又は再発の子宮体癌患者を対象としたペムプロリズマブ (MK-3475) とレンバチニブ (E7080/MK-7902) の併用療法と化学療法を比較する第Ⅲ相無作為化多施設共同非盲検試験 (LEAP-001)（整理番号：2022-5） 治験薬概要書別冊の改訂に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認</p> <p>議題4. パレクセル・インターナショナル株式会社の依頼によるバイエル薬品株式会社の依頼による糖尿病黄斑浮腫患者を対象とした高用量アフリベルセプトの第Ⅱ/Ⅲ相試験（整理番号：2022-7） 治験薬概要書補遺1に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認 ・竹内 大委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加</p> <p>議題5. マルホ株式会社の依頼によるnemolizumabの結節性痒疹患者に対する第Ⅱ/Ⅲ相試験－比較/長期継続投与試験－（整理番号：2022-8） 安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認 ・佐藤 貴浩委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加</p> <p>議題6. 中外製薬株式会社の依頼による糖尿病黄斑浮腫患者を対象とし</p>

	<p>たファリシマブの継続投与試験（整理番号：2022-10） 安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認 ・竹内 大委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加</p> <p>議題7. 武田薬品工業株式会社の依頼によるPID日本人におけるIGSC, 20%の長期安全性及び忍容性試験（整理番号：2022-11） 治験分担医師の追加の妥当性について審議した。安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認</p> <p>議題8. 中外製薬株式会社の依頼による加齢黄斑変性患者を対象としたファリシマブの継続投与試験（整理番号：2022-13） 製造販売後臨床試験から治験への治験実施計画書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。同意・説明文書・治験参加カード、被験者への支払いに関する資料、健康被害の補償について説明した文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認 ・竹内 大委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加</p> <p>【報告事項】 治験終了報告 令和4年年10月26日に「研究題目（2022-3）加齢黄斑患者を対象としたFaricimabの第Ⅲ相試験」の終了報告が提出された。</p>
特記事項	